



特集

2030年ビジョン実現に向けた取り組み ～コープしがの2025～

第41回通常総代会(2021年6月11日)で承認されました

2030年ビジョン「やくだつ・つながる・ひろがる」は、コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」を実現するための10年後のありたい姿です。今までも、これからも組合員の期待に応え、くらしに役立ち続けることをめざしています。第Ⅱ期・第10次中期計画の2年目にあたる2025年度は、2030年においてもコープしがが組合員のくらしに「やくだち」続けることをめざし、「つながりづくり」を推進しました。

コープしが2030年ビジョン ～やくだつ・つながる・ひろがる～

2030年のコープしがは…

- 1 食の安全・安心を大切に、一人ひとりのくらしへの役立ちを高め、生涯を通じて利用できる事業をつくりあげています。
- 2 誰もが安心してくらしさせることをめざし、地域の中での役割を担っています。
- 3 大多数の人々の理解と共感、つながりを力に、持続可能な社会への取り組みを広げています。
- 4 組合員と生協で働く誰もが、生き活きと輝き、より良いくらしづくりをめざして持続可能な経営を続けています。

しが子どもの笑顔 はぐくみサポート基金

貧困やさまざまな悩みを抱える子どもたちが「笑顔」でくらしできるように応援する基金を2022年1月に創設しました。組合員が宅配、店舗で提供する県内商品・地場産農産物の利用を通じて、子どもたちや県内生産者を応援できる取り組みです。積み立てた基金は、年度末に1年間分を、滋賀県社会福祉協議会がすすめる「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に寄付しています。

●2025年度寄付金額：1,885,381円



フードドライブの取り組み

コープしがの各事業所にフードBOXを設置し、組合員から余剰食品の提供を受け、「フードバンク滋賀」・「フードバンクびわ湖」・「フードバンクながはま」・「甲賀市社会福祉協議会」を通して必要とする人に届ける「フードドライブ」の取り組みを行っています。

●2025年度
フードBOX回収量：
4,363.7kg

